

# 来々年々4月、 大学院ビジネス研究科を開設

長久手キャンパスに、大学院ビジネス研究科ビジネス専攻博士課程の設置が認められました。  
 本学の5番目の大学院研究科として、平成17年4月に発足します。

## 設置の趣旨

近年、ビジネスの分野では情報化やグローバル化の急速な進展によって、激変するビジネスについての専門的知識と実践力を併せ持つ人材の必要性が一段と高まりつつあり、そのような人材の育成が強く要請されています。

このような社会的要請に応えるために、本学ではまずコミュニケーション学部ビジネスコミュニケーション学科の

教育組織を拡充しつつ再構築して、コミュニケーション学部から分離独立させ、ビジネス学部ビジネス学科として平成16年4月から開設しました。

このビジネス学部を基礎として、その教育研究目的と理念を継承し、さらに発展深化させることにより、現代のビジネス社会に必要とされる国際感覚に富み、激動の時代に自ら考えるための専門知識と問題解決能

力を身に付けた高度な専門的職業人や研究者を育成するため、本研究科を設置しました。

本研究科は、初年度から博士前期課程(修士課程)と博士後期課程(博士課程)の同時開設となり、入学定員は博士前期課程は20人、博士後期課程は5人となります。

## 博士前期課程(修士課程)の特色

本研究科の教育研究目的は、最新のビジネス現場における幅広いさまざまな課題に実践的に対応できるように、高度な知識とスキルを修得するところに主眼を置いています。

このような教育研究目的を持つビジネス専攻博士課程のうち、まず博士前期課程(修士課程)は、次のような特色を持っています。

### 社会に開かれた大学院

本研究科は、職業、年齢、性別、国籍などの違いを問わず、大学卒業者を始め、官公庁、教育機関などで働く社会人、外国人留学生など、多様な学歴と経歴を持つ学生を積極的に受け入れます。

入学時期は4月と10月の2回とし、入学選抜試験についても、一般学生を対象とする入学試験と、外国人留学

生や社会人を対象とした特別入学試験を実施します。

さらに、すべての授業科目を半年の学期ごとに完結するセメスター制を採用します。また、一部の授業科目については、夕夜間開講、土曜日授業、夏季または春季特別授業期間内の短期集中授業などの実施により、職業を持つ社会人の受講や、10月入学にも支障のない時間割編成を行います。

## 大学院ビジネス研究科ビジネス専攻博士課程

大学院ビジネス研究科  
 ビジネス専攻博士課程

博士前期課程(修士課程)  
 入学定員20人

博士後期課程(博士課程)  
 入学定員5人





## ビジネスは大人の学問。 問題意識を持った人に学んでほしい。



ビジネス研究科長  
杉本典之教授

私の先輩である経営学者が、「経営学、ビジネスの学問というのは大人の学問だ」ということを言っています。高校を出たばかりの若い人が学ぶのももちろん意味がありますが、むしろ実社会を経験した人がビジネスについてもっと深く勉強したいという問題意識を持って学ぶのがビジネス入学ではないかというのです。

その意味でビジネス研究科は学部で経営や経済を学んだ人だけでなく、たとえば文学部や理学部の卒業生も歓迎します。大学院生は学部の授業を履修できるため、自分に

足りない基礎を補強することで十分大学院でも付いてこられます。もちろん自分の学習・研究をさらに幅広く実りあるものにするため、学部の授業を履修してもいいでしょう。

愛知淑徳大学は女子大として長い伝統があり、これまで多くの優秀な卒業生を送り出してきました。彼女たちが母校に戻ってビジネスを勉強し、仕事に生かすというようなことにもなったら嬉しいですね。

もちろんビジネス学部の学生が4年後、大学院に進んでくれるのも楽しみです。公認会計士などの専門職を目指す、ベンチャービジネスを立ち上げるなど、学部の4年間で目標を定めて進学してほしいと思います。

ビジネス研究科の教育スタッフは学部とほぼ同じになります。スタッフの約半数は実務経験者なので、より専門的な学習・研究ができる大学院の方が活躍できるのではないかと考えています。(談)

### 4つのコース科目群の設置

カリキュラムの編成は、専門的知識の修得と合わせて、実践力の養成を重視した下記の4つのコース科目群を設置します。

この4つのコース科目群は、5年先10年先のビジネス活動にも、公認会計士などの会計専門家やソフトウェア開発者のような専門的職業人としてあるいはグローバルな企業のリーダーとして貢献しうる人材を育成するためのものです。つまり科学的分析と説明ができる人材、システマ的思考のできる人材、実務に関する高度な知識とスキルを持つ人材、想像力と構想力のある政策的提言のできる人材を育成するための科目群です。

### 多彩な教員組織

教育研究スタッフは、優れた実務経験をもち、国際的な舞台で活躍してきた企業出身者や、現役の公認会計士と理論的研究者で構成され、優れた理論と実践の両面の教育研究を可能としています。

### 博士後期課程(博士課程)の特色

博士後期課程(博士課程)は、現代ビジネス社会のビジネス現場における幅広いアドホックな課題に、高度な知識とスキルをもって取り組む高度な専門的職業人や研究者を育成することを目指しています。

博士後期課程(博士課程)のカリキュラムは、指導教員による研究テーマの選択、研究方法の指導を受け、博士論文の結実を促す科目群から成っています。

修了要件は、指導教員の授業科目を12単位以上修得し、博士論文の審査に合格することです。

### 4つのコース科目群

- 1 「ジェネラルビジネスコース」科目群  
統計、経営学、マーケティング、ファイナンス、国際ビジネス、現代ビジネスなどビジネス全般に共通する基本的科目と、アントレプレナー・プログラムやマネジメントゲーム・プログラムなどの科目で構成され、次の3つのコース科目群と組み合わせて修得することができます。
- 2 「ビジネスコミュニケーションコース」科目群  
異文化コミュニケーション、国際ビジネスロー、コンフロンテーションとディベート、ジェンダーなどの科目で構成されています。
- 3 「戦略情報システムコース」科目群  
経営情報システム、情報倫理、システム開発、リスク管理、プログラミングの科目で構成されています。
- 4 「会計プロフェッショナルコース」科目群  
財務会計、管理会計、税務会計、英文会計、商法などの科目で構成されています。

### 修士論文の選択制

博士前期課程(修士課程)の修了要件は、授業科目の中から30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格すること。あるいは、論文に代えて、指導教員の担当する授業科目4単元以上を含む34単位以上を修得することのいずれかです。このように修了要件は選択可能です。

お問い合わせと願書等の資料請求先

愛知淑徳大学 入試広報課

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23

TEL (052)781-7084(直通)

ホームページアドレス <http://www.aasa.ac.jp>

E-mail [kouhou@asu.aasa.ac.jp](mailto:kouhou@asu.aasa.ac.jp)